

ヴィジュアル・情報領域
准教授 奥村 和則

専門分野

メディアデザイン
伝統工芸と造形
デジタル・ファブリケーション
情報デザイン

学位・資格

修士（学術）

研究者情報
(Research Map)



専門分野と社会との関わり

情報伝達するメディアの特性を活かした情報発信の方法や、パッケージを含めた立体物とデザインについて、制作や企画、監修をしています。

また、伝統工芸とその技能を現代のライフスタイルに合わせた取り組みを、学生とともに研究しており、デジタル・ファブリケーション（デジタルデータをレーザー加工機や3Dプリンターなどを用いて制作する方法）による解決などの提案をいたします。



アクリルによるタペストリー



3D プリンターを活用した行灯



伝統工芸の取り組み 作例

最近の活動紹介

教育活動／研究活動／地域貢献活動

情報モラルを高めるための取り組み

オンライン活用の重要性が高まる今日において、情報モラルやネットリテラシーの向上も重要であるといえます。特に、児童が単独でネットワークを使用するケースが増加していることから、児童に対する情報モラル向上が社会的にも急務だと考え、高大連携プロジェクトとして岐南工業高校の皆さんと本メディアデザイン研究室ゼミ生とで取り組みました。今後、小学校での検証を経て更なるブラッシュアップを計画しております。



授業紹介／ゼミ生による教員紹介

みんなで考えるからオモシロい

私たちがゼミの中で考えるメディアデザインとは、

- ① 情報伝達のためのメディアをデザインすること
- ② 得た情報を解釈し、異なるメディアで他者に伝えること
- ③ コミュニケーションを促す仕組みを構築すること

の3つです。これらを基本に、各自の制作テーマをゼミの先生とのエスキース（話し合い）や、ゼミ生みんなでのプレストお互いにアイデアを出し合い、高め合っています。

緊張感もありますが、多くの時間、笑顔で話し合えるゼミです。

